



活動報告

キッズハロウィン「みんなでTrick or Treat!!」

2020年10月31日(土曜日)に子供向けハロウィンイベントを行いました。当日は20名の元気な子供たちが可愛い(かっこいい)仮装に身を包み、ハロウィンについてのお話、英会話レッスン、ゲームにTrick or Treatを楽しみました♪



ドラキュラに変身して登場したのはアメリカ出身のアーロン先生♪

ボランティアスタッフのみなさんも一緒に盛り上げてくださり、とても楽しいイベントになりました!

What time is it,
Mr. Wolf??

It's lunch time!!!



Monster mash!!



Trick or Treat!!



一緒にイベントを盛り上げてくださったアーロン先生とボランティアスタッフのみなさんありがとうございました!!



JICA 青年海外協力隊が見た世界～ブラジル編～

青年海外協力隊って聞いたことはあるけれど、実際にはどんな国でどんな活動をするの??

このコーナーでは廿日市市出身または廿日市市にゆかりのある青年海外協力隊OBOGの方々に、派遣先でどんなものを見てどんなことをしたのか、実体験に基づく貴重なお話をお聞きます。

第1回目は廿日市市出身で、2019年～2020年ブラジルに赴任された谷俊洋さんにお話を伺いました。

《谷 俊洋さんプロフィール》

1986年4月17日生(34歳)

廿日市市で幼稚園～大学時代を過ごす。趣味はサッカー観戦。

社会人を経て広島医療保健専門学校に入学。

専門学校を卒業後、作業療法士として静岡の病院で勤務。

子供のころから家族の影響で興味を持っていたため JICA 協力隊に応募。

作業療法士としてブラジルの老ホームで活動。

2020年3月にコロナの影響で帰国となり現在は元の職場に戻り勤務している。



谷 俊洋さんインタビュー

Q: 青年海外協力隊に申し込んだきっかけはありますか? どうして青年海外協力隊になろうと思ったのですか?

谷さん: 家族の影響で子供のころから外国とか開発途上国に興味がありました。一人で外国旅行へ行ったり、大学では砂漠に木を植えるボランティアをやっていました。でも一方で将来は日本の病院で働きたい希望がありました。JICA 協力隊は2年間の期限付きで開発途上国で働けるし、待遇も他と比べて良いので決めました。

Q: 派遣先が決まった時、どのように感じましたか?

谷さん: 試験の時点で、自分の経験で行けるところはブラジルかベトナムか、という感じでした。本当は英語圏に行きたかったのですが、ブラジルは大好きなサッカーの国だし日本と真逆の文化だと思っていたので楽しみでした。

Q: 現地ではどのような活動をしていましたか?

谷さん: 作業療法士としてブラジルの日系人の老人ホームでリハビリを担当していました。地域の老人向けに体操や認知運動、認知症の啓発活動を行いました。病院に行けない人たちのいるところへ行く巡回診療に同行し、体操や健康に関する啓発活動を行いました。

Q: 現地ではどの言語を使っていましたか?

谷さん: ポルトガル語です。日本で使っている「パン」「カステラ」「おんぶ」とかはポルトガル語です。ブラジルとポルトガルとモザンビークがポルトガル語を使う主な国です。

Q: どんなところに住んでいましたか? また、現地の人々の住居はどんな建物ですか?

谷さん: 日本にあるような建物とほとんど変わりません。赤道直下のアマゾンですが、大都会で日本にあるようなスーパーやショッピングモールもあります。貧富の差が激しいようですが、日本にあるような一軒家やマンションが沢山あります。家の前には必ず鉄格子があったり、門番が見張ってます。町から少し出るとイメージ通りの「アマゾン」が広がっています。

Q: 普段の食事はどんな内容でしたか? 現地の有名な食べ物はありますか? 珍しい食べ物はありましたか?

谷さん: 一般的に食べるのはフェイジョアダ(煮豆)、パラパラ白ご飯、鶏肉、ファロファ(芋の粉)です。アマゾンでは南国フルーツ、ドロ蟹、アマゾン川に住むミズを食べさせてもらいました。お肉が安いのでお祝い事ではステーキ(シュラスコ)がいつも食べられます。

谷さんが中心となり、
集団体操やゲームの指導をしている様子



老人ホーム入居者のみなさんと谷さん



身体測定にて自らが提案した
認知検査を提案・実施している様子



Q: 現地ではどのような服装をしていましたか？現地の方はどのような服装をしますか？

特徴的な民族衣装などあれば教えてください。

谷さん: 赤道直下なので、特徴的なのはサンダルです。どこに行くにもサンダル。老人ホームの入居者もみんなサンダルでした。一年中男性は短パンにTシャツで、女性はワンピースで過ごしています。すごく開放的です。お葬式でもジーパンで行くそうです。

Q: 現地での生活の中でカルチャーショック(文化の違い)を受けた出来事があれば教えてください。

谷さん: 毎日が刺激的だったので数え切れませんが、一番印象的なのは体調を崩して病院へ行った時、とにかくいろんな検査をされました。日本のように、問診、打診、触診が無く、検査結果から治療方針を決めるのが普通のようなのです。お腹が痛くて行っただけなのに、「全身麻酔をします」と言われて驚きました。(断りました)

Q: 逆に日本と似ているなと思ったことはありますか？

谷さん: 職員が入居者に対して思いやる気持ちは日本と変わりません。みなさん入居者のために一生懸命働いています。ブラジルは時間などにルーズですが、日系社会には昔ながらの日本があります。礼儀を重んじる、時間を守る、挨拶をする等は日系人の人は日本以上にかなり厳しいです。

Q: 派遣中の面白エピソードがあれば教えてください。

谷さん: 食べ物はおいしいものもありますが、慣れない生活で体重が7キロ落ちました。あとは 熱帯雨林気候で家の中がカビだらけになります。スーツ、財布、ベルト、ソファ全てにカビが生えます。カビは何をやっても阻止できません。3日くらいするとフォークと鍋にもカビが生えてました。現地の人はあきらめています。

Q: 派遣中、日本に帰りたい！と思った瞬間はありますか？

谷さん: 日本のご飯が恋しくなった時です。カップラーメンの「どん兵衛」が食べたくて仕方なかったです。日本食レストランや日本食スーパーはたくさんありますが「どん兵衛」だけはどこにも売ってなくて、日本食スーパーのオーナーに輸入するよう直談判しました。あとは、泥棒や強盗がそこら中にいるので、のんびり散歩できないんです。日本に帰ったら夜フラットとコンビニに買い物とか行きたいなと思ってました！

Q: 現地で感動した出来事があれば教えてください。

谷さん: サッカーの試合を見たとき。自分の派遣先は田舎の3部リーグ(日本でいうJ3)ですが、日本では絶対に感じられない迫力と熱気でした。観客はすぐ5万人くらい埋まり、負けたりすると暴徒化します。その代わり勝った日はずーっと浮かれます。

Q: 現地で学んだ人生の教訓は？

谷さん: 生活面ではコミュニケーションとは何かということです。言葉だけじゃ無く、文化や食事や習慣などから意思疎通をすることができると思いました。仕事面では、働き方の違いを感じました。リハビリの仕事ですが、日本人よりも幅広い分野の勉強をしている人が多いと感じました。仕事面での可能性の広げ方を学んだと思います。

Q: 最後に、ブラジルに行く前と行った後、青年海外協力隊という任務を通して、自分の中で変化があれば教えてください。

谷さん: 自分はJICA協力隊に行くことが一つの目標でした。そのためにいろいろと日本で活動していました。その努力を見ている人は見てくれているとわかりました。外国で働いてみたいという人は多くても実際に行く人はわずかです。人と比べて珍しいことをしているので、応援してくれる人にたくさん出会いました。応援してくれる人が周りにこんなにいるんだということを実感しました。これからの人生でも、応援してくれている人に恥じない活動をして、恩返しができる人間になりたいと思うようになりました。



アマゾン川



ブラジルのビーチ

谷 俊洋さんありがとうございました！！

谷さんのお話を聞いて青年海外協力隊の活動に興味が出た方は、ぜひホームページ

<https://www.jica.go.jp/volunteer/>をのぞいてみてくださいね！！「JICA 海外協力隊」で検索できます

廿日市市国際交流協会ではこれまでも様々なイベントをJICAと共催させていただきました。年明け2月は、広島JICAデスクから講師を招き、フェアトレードのチョコレートとガーナについてのお話をさせていただきます♪お楽しみに(^^)／

イベント情報 2020年12月

※ 準備がありますので、必ず事前に協会事務局まで申し込みをお願いします。

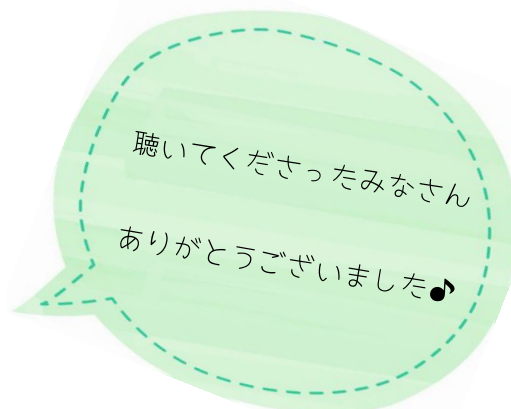
日付	内 容	時 間	場 所	対象・定員		参加費	企 画
				子供	大人		
5 日 (土)	クリスマスフェスタ☆2020☆ クリスマスステージ(歌、マジックショー)、クリスマスクラフト、英語ミニゲーム、サンタさんの絵本読み聞かせ & 写真撮影。 世界と日本の物産展もお楽しみいただけます♪ ※来場者全員にお楽しみクジ配布。 ご来場には事前の申し込みが必要です。	10:30 ～ 12:00 13:00 ～ 14:30	廿日市市 市民活動 センター	○	○	無料	廿日市市 国際交流 協会
3 日 10 日 17 日 (木)	「通訳養成講座」「やりなおし英会話」秋季クラス スタート 広島之宝！と称される同時通訳者谷本先生による英会話講座です。 ※受講に際しましては、廿日市市国際交流協会の会員であることが条件です。	15:00 ～ 16:30 18:30 ～ 20:00	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	会員限定 3 か月 11000 円	廿日市市 国際交流 協会
20 日 (日)	「楽しく学ぶ英会話」 初歩の英会話クラスです。“ゆっくりと、しかし一歩前進”をモットーに、英語を話す能力を伸ばします。皆さんも英語で話してみませんか？ぜひ参加してみてください。	10:00 ～ 12:00	中央市民 センター	○ 中・高生	○ シニア OK	100 円	土曜通訳 ガイド ボランティ ア

FM はつかいちに出演しました！！

11月15日(金曜日)に、FM はつかいち「地元でがんばる Jin」に私たち廿日市市国際交流協会の事務局員近藤と長年にわたり協会で活躍されている木曜通訳ボランティアの板倉さんとで出演させていただきました。

パーソナリティー崎田えみ子さんのもと、10月11日に開催したOne Day Peace Tourについてを中心に、通訳ボランティアの方たちのこれまでのご活躍について、また廿日市市国際交流協会の活動内容についてお話をさせていただきました。

廿日市市国際交流協会の存在と協会ボランティアのみなさんの活躍が少しでも多くの廿日市市民の方に届いていたら嬉しいです♪



編集:発行 廿日市市国際交流協会 Hatsukaichi International Association

〒738-0014 廿日市市住吉二丁目2番16号 廿日市市市民活動センター内

TEL (0829)20-0116(火曜～金曜 9時～17時) FAX (0829)30-3113

ホームページ: <http://hia.hatnet.jp/>

e-mail: hia21@mx4.tiki.ne.jp Face book: <https://www.facebook.com/>

